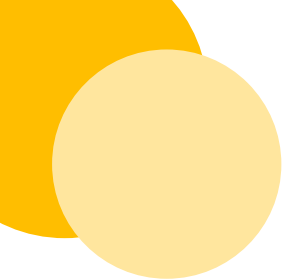




2023年1月実施

24卒学生アンケート結果



これまでの就活について

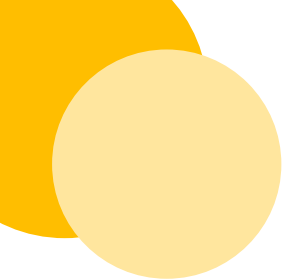
● ● ● p.3

選考について

● ● ● p.7

まとめ

● ● ● p.14

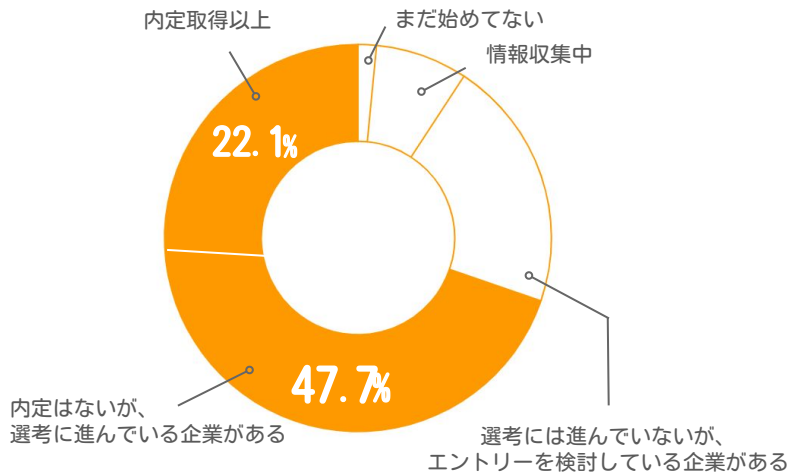


これまでの就活について

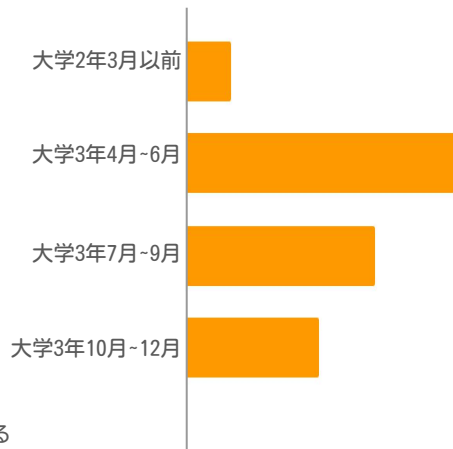


現在の就活状況について

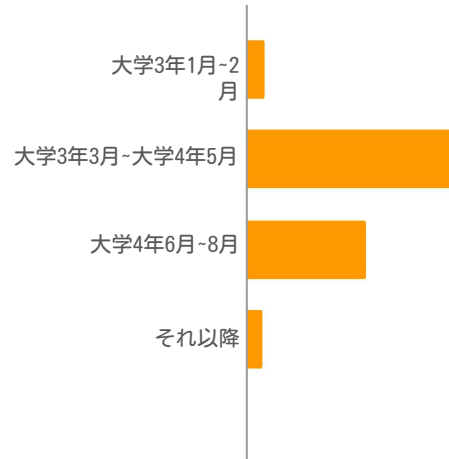
▽現在の就活状況を教えてください



▽就活を始めた時期はいつですか？



▽就活終了希望時期はいつですか？



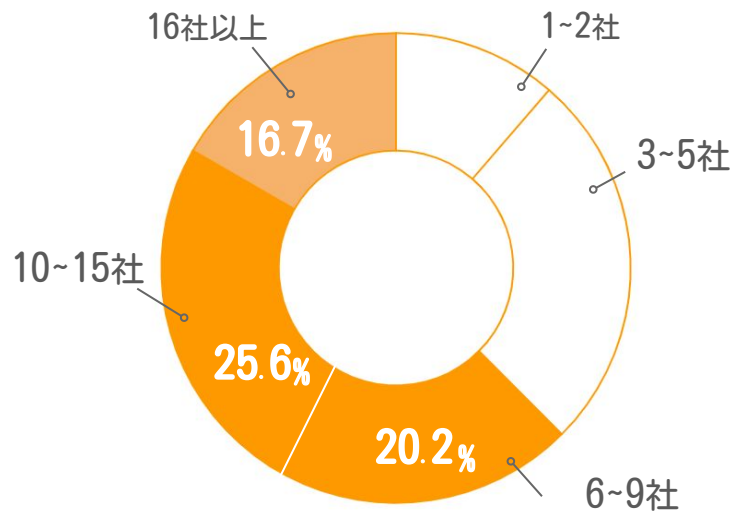
合計69.8%の学生が選考に進んでおり、うち22.1%の学生が内定を取得していると回答(先月より10.2ポイント増加)。年が明け、本格的に選考を進めている学生が多いことが伺える。

就活時期については、引き続き大学3年生の春から夏にかけて開始、大学4年5月までには終了希望の声が最多。前述の選考フェーズを参照しても、5月前後の承諾が多いと思われる。

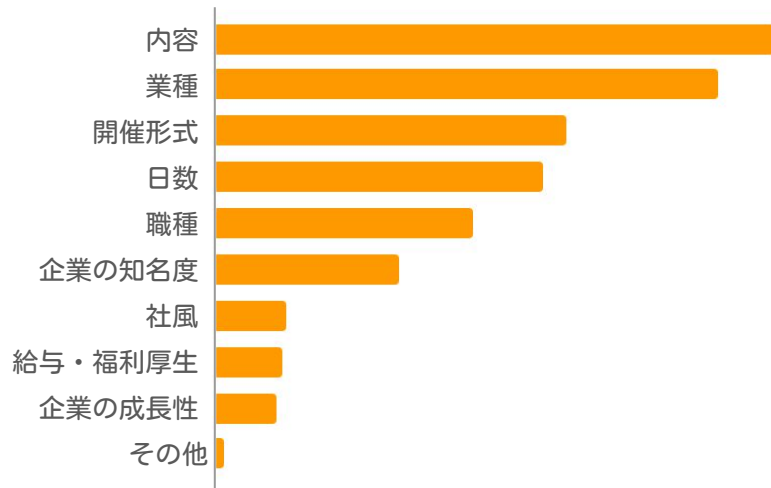


これまでに参加したインターンについて

▽これまでに何社インターンに参加しましたか？



▽どんな基準でインターン参加企業を選びましたか？
(複数選択)



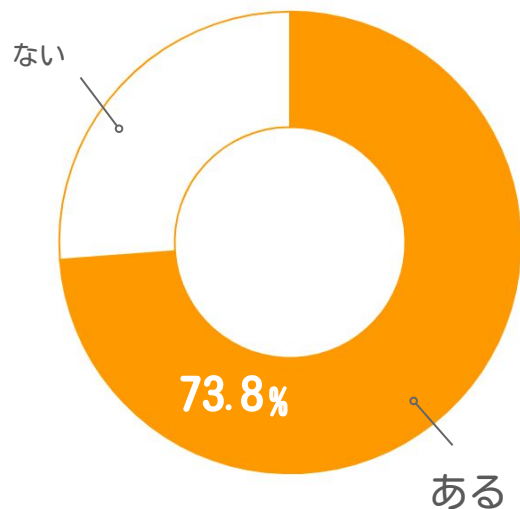
合計**62.5%**の学生が6社以上のインターンシップに参加したと回答。
10社以上の参加を経験している学生も42.3%おり、積極的にインターンシップに参加していたことがわかる。

参加基準は「内容」を重視している声が最多だった。
インターンシップに呼び込む際には、当日のコンテンツや詳細を**魅力的に伝える工夫が重要**そうだ。



これまでに参加したインターンについて

▽インターン参加企業の中で、
選考に進んでいる企業はありますか？



7割以上の学生が「インターンシップ参加企業の選考に進んでいる」と回答した。

学生との接点だけでなく、**選考の面でもインターンシップは重要**であったことがわかる。

また、**社風・雰囲気**と**業務内容への理解**によって志望度が上がったという声が多かった。

インターンを通して上記2点をしっかりと伝えることが重要だと思われる。

<一部コメント抜粋>

◎印象が良かったインターン

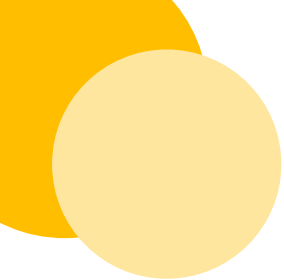
- ・ 事業内容や職種のイメージができたため
- ・ 社員の方が魅力的だったから
- ・ 職場の雰囲気や働き方の理解度が上がったため
- ・ 実際の社風を知ることができたり、業務の面白さを知ったから
- ・ 業務について詳しく知ることができたため

反対に、**雰囲気や学生への対応によって志望度が下がってしまう**ケースもあります。不用意に離脱してしまわないような対応を心掛けましょう。

<一部コメント抜粋>

△印象が悪かったインターン

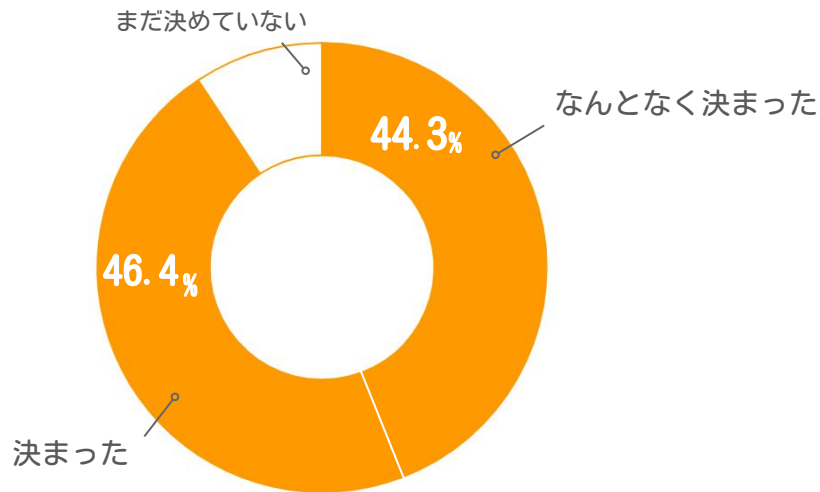
- ・ 人事の人の感じが悪かった
- ・ 仕事体験の内容が面白くなかった
- ・ 社員と交流がなかった
- ・ インターンという名目だったが、HPに書いてあることの説明が主だった



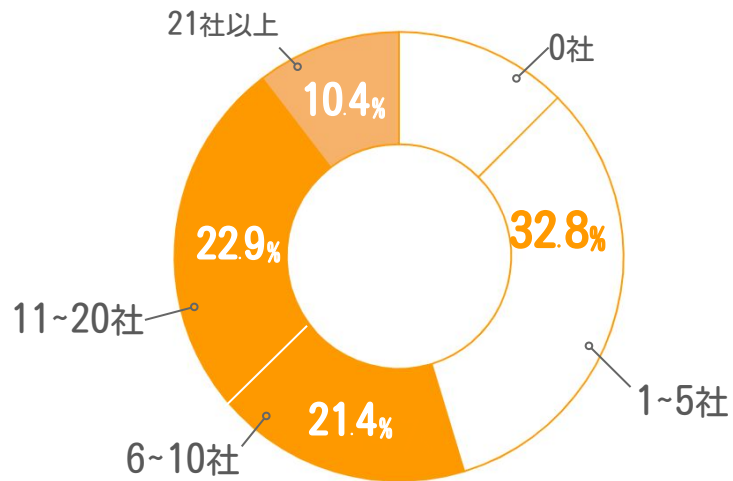
選考について

志望業界について

▽既に志望する業種や職種は決まりましたか？



▽これまでに何社エントリーしましたか？

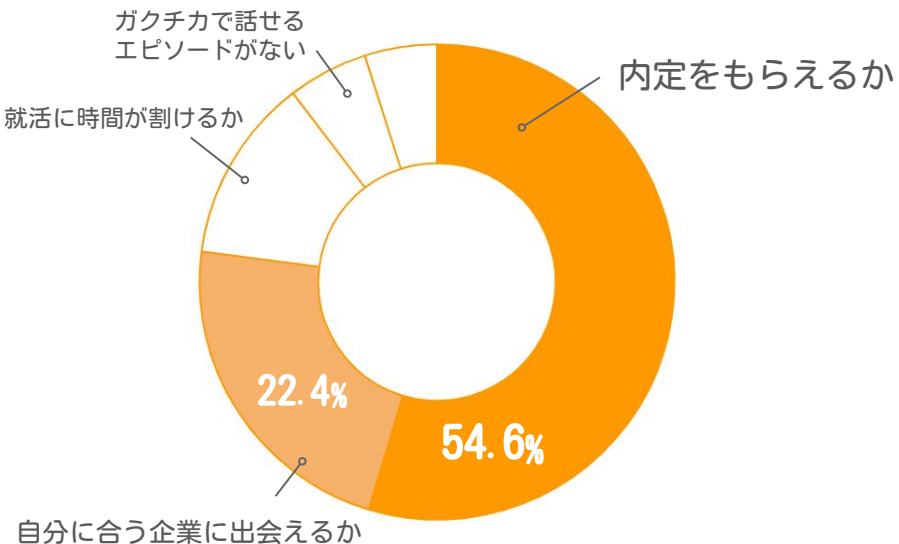


46.4%の学生が志望業種/職種が決まったと回答した。
「なんとなく決まった」も含めると90.7%にものぼる。

また、合計87.5%の学生がエントリーを経験しており、11社以上経験している学生も3割ほどとなった。
学生のエントリーする数も限りはあると思われるため、早めの接点が重要そうだ。

就活に対する不安について

▽就活で最も不安に感じることは何ですか？



就職活動に対する不安では「内定をもらえるか」が最多の結果だった。

内定獲得への不安はやはり大きいことが伺える。

コメントを見ると、大きく分けて「ガクチカへの自信の無さ」「面接等選考慣れができていない」「落選経験」の3つに分かれる。

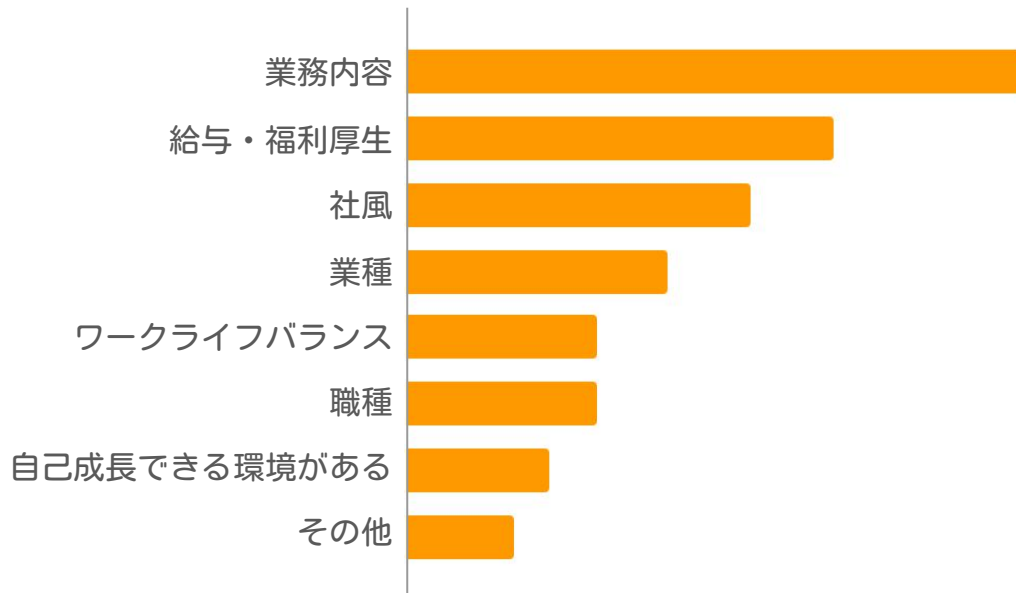
24卒は入学からコロナ禍の学生であるため、例年と比べると**ガクチカや面接対策が十分でない可能性が高い**。

そのため、**学生に寄り沿った対応やポテンシャルや人柄に目を向ける**ことで、学生からの志望度向上に繋がる可能性がある。

<一部コメント抜粋>

- ・就活軸にあった企業に内定をいただけるか不安
- ・周りが皆内定をもらっているから
- ・面接に自信がないから
- ・面接慣れしてないから
- ・1度インターンから早期選考で面接を受けたことがあるが落ちたから
- ・受けた企業が全て落ちたから。
- ・結果を出した経験が少ないから
- ・学歴やガクチカの強さが分、他学生に劣っていると感じるから

●● 受けたい企業を探す際に何を最も重視しますか？



先月に引き続き、「業務内容」を重視するという声が多くなった。

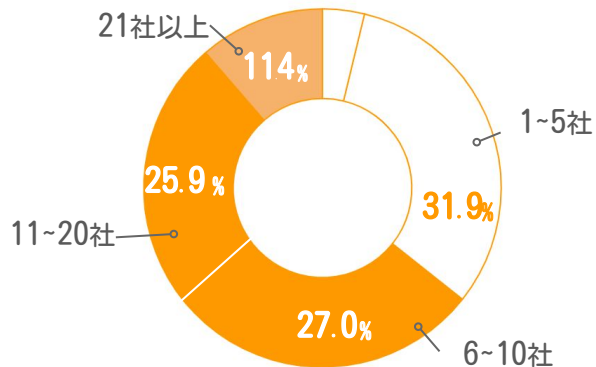
年内では「給与・福利厚生」が多かった月もあったことをふまえると、**学生の就活のフェーズによって重視ポイントが変わる**と思われる。

3月の解禁以降は追加でエントリーする企業数を絞る可能性もあるため、**他社との違い**や**業務の魅力**などをわかりやすく伝えることが重要そう。

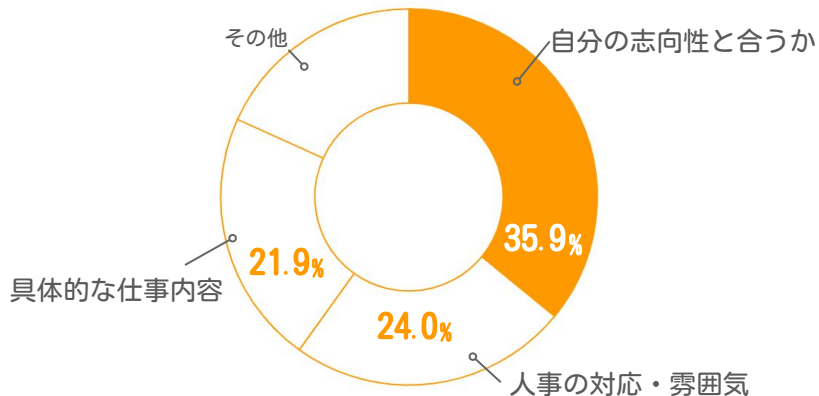


説明会について

▽これまでに説明会に何社参加しましたか？



▽説明会で一番見ているポイント・情報は何ですか？



合計**96.2%**の学生が説明会に参加経験があると回答した。
説明会では「自分の志向性と合うか」を見ている学生が**35.9%**と最も多いが「人事の対応・雰囲気」「具体的な仕事内容」を重視している学生も。
特に、**事業内容の具体的な説明**や様々な**現場社員とのコミュニケーション**がとれる説明会は引き続き印象が良いようだ。

<一部コメント抜粋>

◎印象が良かった説明会

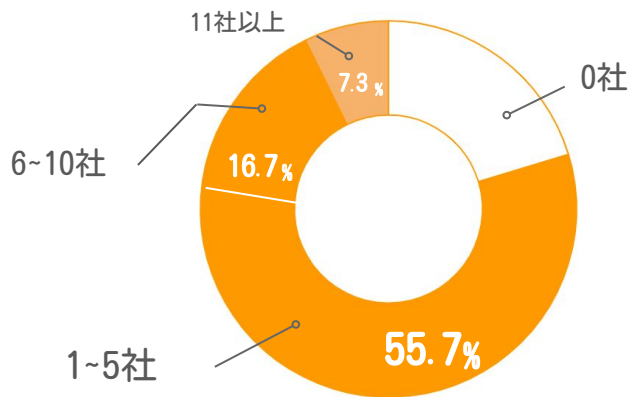
- ・説明される社員の方が仕事を楽しんでいることが伝わる
- ・人事の方だけでなく様々な部署の方々と会話ができた
- ・仕事内容や、どんな社員がいるのか、良い所・悪い所を正直に話してくれた
- ・社員との座談会有る
- ・少人数制で雑談形式ですすんだところ
- ・コミュニケーションがしっかり取れた

△印象が悪かった説明会

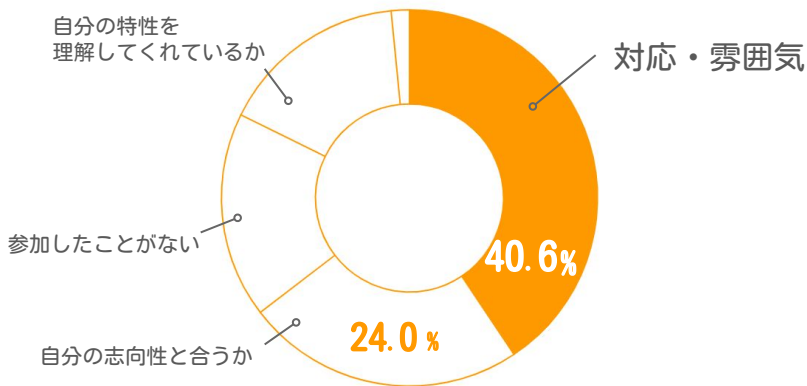
- ・人事の人が業務内容を理解していなかった
- ・具体的な内容があまりない
- ・偉そうだった
- ・自社商品の自慢話だけで終わった
- ・「今後伸びない他業界や他企業に行くことは意味がない」と断言された

面接・選考について

▽これまでに選考に何社参加しましたか？



▽面接で一番見ているポイント・情報は何ですか？



約8割の学生が既に1社以上の選考を経験している。

また、面接でも「**対応・雰囲気**」を重視する声が多かった。企業が面接で学生を選考していると同時に、**学生も面接官の雰囲気を見ている**ことがわかる。

丁寧な対応をすることで、学生からの志望度向上を狙えそうだ。

<一部コメント抜粋>

◎印象が良かった面接

- ・最初にアイスブレイクがある
- ・話しやすい雰囲気会話している感じ
- ・良くも悪くも評価を伝えてくれる
- ・自分のことをよくしろうとしてくださった
- ・研究内容について質問され、面接官の方の考えも教えてくださった

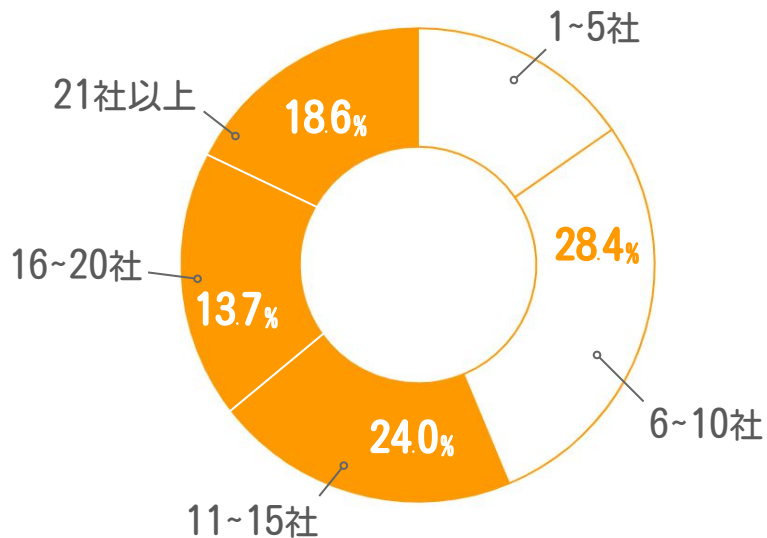
△印象が悪かった面接

- ・あまり深掘してくれなかった
- ・自分の性格を決めつけられたように感じた
- ・リクルーターの密着感がきつく、かえって本音が言いづらい
- ・面接官の表情が常に真顔だった
- ・深掘りの質問がなく、自分の特性を伝えられなかった

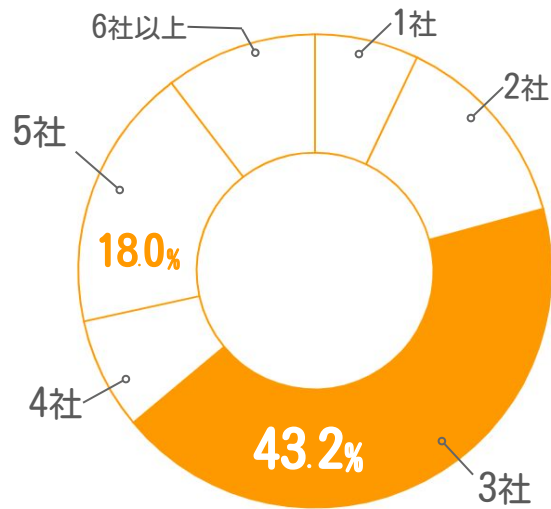


これからの就活について

▽今後何社エントリーする予定ですか？

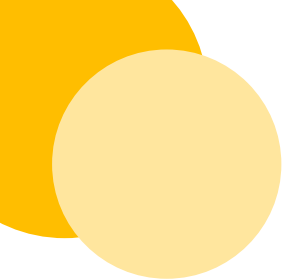


▽最終的に何社の内定を獲得したいですか？



合計**56.3%**の学生がこれから11社以上のエントリーをする予定と回答した。
ただ、3月の解禁で多数エントリーすることが予測されるため、早めの接点が重要だと思われる。

また、内定については**合計3社**獲得したいという声が多かった。
1社で承諾する学生は少ないため、内定を獲得している学生だとしてもまだチャンスはありそうだ。
逆に、内定を出している場合は承諾に向けたフォローも忘れずに実施した方が良いと思われる。



まとめ

- ①業務内容を見ている学生が多数
- ②内定を獲得している学生が増加
- ③3社ほど内定を獲得すると就活を終える可能性が高い



**ナビ解禁前に接点を持っておきましょう！
選考中学生のフォローもお忘れなく！！**

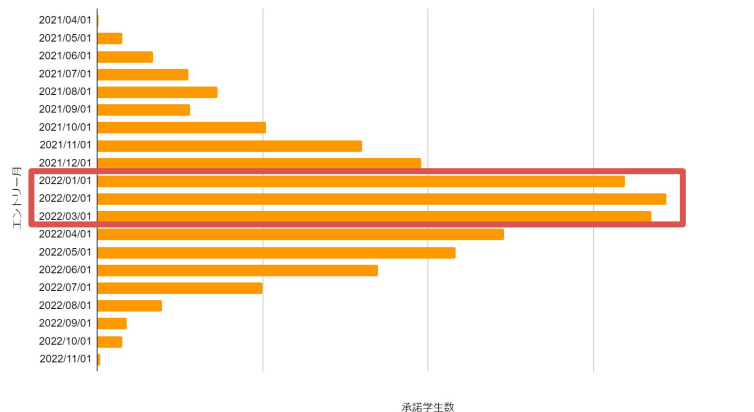


キミスカ24卒 活用ポイント

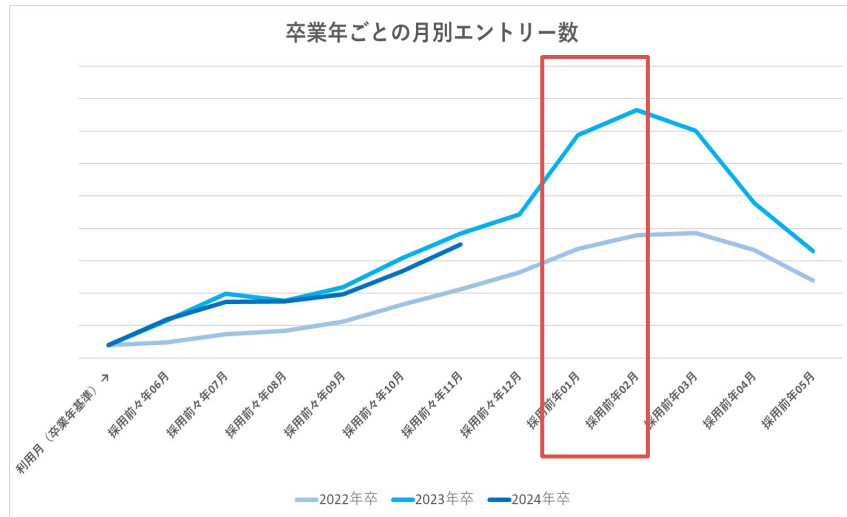


2月がアプローチが重要！

23卒キミスカ エントリーした月と承諾学生数



卒業年ごとの月別エントリー数



キミスカ23卒では、2月がエントリーが最も増加し、かつ内定承諾学生が多い月でした。

3月に入ると、学生はナビの一括エントリーに伴うES提出の対応に追われ、新規のエントリー行動が鈍くなる恐れがございます。

そのため、ターゲット学生との接点作りは2月中に重点的に行っていただくことがおすすめです！